

文久四年

元治四年三月

(19)

門
種
類
119

大正十四年六月十五日
成瀬 恒 寄贈

日記



二二七

成瀬恒



文久四年甲子年

四月小

元日癸卯天氣苦

一曉七時許迄行舟通岩水由水急年曾
有八上中時年一候子外可也移之也
付以秋年一多田う秋より此より八月
此より虫い無危秋候相捕し一未
中秋佳し十月廿五日甲申同也

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

日吉勸助

西ノ中ノ

山ノ外ノ

右一丁より

大田伊豆村永春

卷之四

中書府刊

一、要言爲之通經

書和修和政也

一
亥升辰之中
出爲雄奇
子孫不絕

五
五
五
五
五

一古仙古中 書行中 古仙古中 古

三子

二日 壬午 亥時 卯年

一 於此三ノノ年如之に

[illegible]

五升為一石
雲
五升為一石
五升為一石

古
書
分
類

山陰縣志卷之六
藝文志
書畫記序

新刻

[illegible]

中何有解反
齊河外反
葛亮字孔明

長江板橋
沙洲江夜
畫地安

今按民難為
家新友
薛永哲大司馬
富厚居
以多友
以多友

休養些日子 要好的處方寸 筆力盡了

上卷下 卷之七

三石

水事討討三年

前
 土
 名

水經云 西極東 大舟車

不勝東顧之思
名典

以故余之年如老
一死乃之志乃回痛

之乃以正石所遺位氏和申中

三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

上酒 價之三名 一兩 年久未見

典章
天
宣
宣
宣

子の
いふ
こと
に
あ
る

皮
を
か
く
と
い
ふ
こ
と
は

い
ふ
こ
と
は

平家朝臣 堀江 宗光

四

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

五

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

八日 晴

宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光
宗光朝臣 堀江 宗光

新井山崎 杉平の形 佐々木

石馬の形 遠く 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

石馬の形 石馬の形 佐々木

家書
一平

佳節

尤の意

一平

太玄印

右州署

二月八

謝子葵外

一、江蘇海關
師團定例

一、此道南溪、能古集

一、市令以私市月之末書於令後

己卯年

二

一昨方西谷大飛 書信與此 信付

古詩集卷之六

古
其
子
夕
口
後
多
有
通

西子公孫飛

右六冊
以爲
不校
年

情の如く付市船と力能位

[illegible]

育之

二五五 吾子似此多病何以遂其志

平陽縣志

卷之五

五五呼之也

人少強壯修竹竟而不折

升平之世

方我從父云少子也牧羊の傍

世宗憲皇帝

方々三石
十一方
十一方

此方入此三ヶ年入

此乃一應所用各物

三

此氏ノ系安否由末出否也

此乃陳子之

卷之五

夫々之如く安んずる事。相方々々々々

十石

一 湯名朝名。ソ分ある。南條氏也

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 保。湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

十石

一 湯名。ソ分ある。南條氏也

伊勢。湯名。ソ分ある。南條氏也

今迄二日、文彦平に於て

十七日

一、井井と申す、物井と申す、二、物井と申す、

福井半中

一、事々物々

一日

以て

中少々々、殿う成る、是也、只此、
中少々の、物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

甲子

今迄二日、文彦平に於て、
物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

亦

一、事々物々

亦

一、事々物々

今迄二日、文彦平に於て、
物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

今迄二日、文彦平に於て、
物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

今迄二日、文彦平に於て、
物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

亦

亦

亦

今迄二日、文彦平に於て、
物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

亦

今迄二日、文彦平に於て、
物井と申す、物井と申す、
物井と申す、物井と申す、

上海

朱子

一、地志學中人傳中付

六月寸三 葛布巾 白布手帕

音

一、五月廿二日內務部受牒命交
主事書受 候命交 或印交
或印交 或印交

政事
南
北
風

山房子 卷之三 五十五

我子之妻曰徐氏

健
少
精
公
德
不
為
所
動
六
分
爲
中

卷之五

卷之五

不
細
居
是
之
一
部
分
入
其
中

肺
氣
名
中
丁
廿
二
支
方
方
方
方

元厚堂先生集

此乃...
萬
後
以
信

此石乃... 萬氣永流

[illegible]

引之

中
山
山
山
山
山
山

清南堂

十二作多白人皆要之

年以爲公之所振爲子步之局了

古今集歌

[illegible]

[illegible]

洛
書
之
序
。 今
全
書
以
三
篇
記
之

五君子之爲何如也

平之七 ありやろを物くもるゝ

五十六 五十七 五十八 五十九 六十

[illegible]

妻は後七日に
 死す。

[illegible]

世系傳

[illegible]

此乃一僑方所製

五王門後年所鄉心

苦戰要心勝

如何要之其如此年好作

[illegible]

惟所好者
 惟所好者

一、
二、
三、
四、
五、

新甘香子
玉簫聲

正黃旗

胡馬之石經之妙法云何之尤白

未及月而卒

也
乃
之
氣
以
為
主
後
之
乃

此乃公能古乃公平乃公急乃公

此後之世多不中。人。也。故。其。人。也。

以 餘 金 積 多 不 中 何 者 年 入 不 足 於 出
 乃 少 止 焉 者 三 年 餘 以 歸 心 入 學 於 東

二つが、江に我々一隊を降し、又其の

萬曆二十五年

此乃
 之天
 年
 月
 日

當今之世。此書之入。其

物所氣狀
ツミチヤク

此牛角散年久
以酒調服

丁巳年九月廿五日

此以爲偏多矣中後

卷之五

得与尔共之乃不心所入者

不為所動，乃為人所動。

[illegible]

三
七
三
五
六
四
二

新刊
 卷之五
 五

五
A

定有月夜路無新
松多自功中刻
字多自功中刻

五

十

[illegible][illegible]

一昨夕有雨

早知此乃無益之事 陽春不為富貴之利祿
 縶上 吾輩所求之富貴非此也 亦信如斯先
 達之所謂富貴者 蓋有通乎於物也 吾輩
 之所求者 亦非此也 亦何異何之 振以發
 之

六十四方

松石動如風
清竹鳴如雪

石門へ九つ四つを以て安んずる所
 乎か、三つ一信を移す所、中なる所、
 此の三つを安んずる所、
 一信を安んずる所、
 三つ安んずる所、

小音

一為松雲師
傳為孔稚
恭

木下

市言

[illegible]

亦言

市

一抄年角所、世為傳占、

曉 冬 山 光

市 井

一 夕 内 山 光 角 何 可

廿 二

一 市 井 山 光 角 何 可
中 井 山 光 角 何 可
二 市 井 山 光 角 何 可
三 市 井 山 光 角 何 可
四 市 井 山 光 角 何 可
五 市 井 山 光 角 何 可
六 市 井 山 光 角 何 可
七 市 井 山 光 角 何 可
八 市 井 山 光 角 何 可
九 市 井 山 光 角 何 可
十 市 井 山 光 角 何 可

松 書 助 仲

一 市 井 山 光

松 書 助 仲

市 井 山 光 角 何 可
中 井 山 光 角 何 可
二 市 井 山 光 角 何 可
三 市 井 山 光 角 何 可
四 市 井 山 光 角 何 可
五 市 井 山 光 角 何 可
六 市 井 山 光 角 何 可
七 市 井 山 光 角 何 可
八 市 井 山 光 角 何 可
九 市 井 山 光 角 何 可
十 市 井 山 光 角 何 可

廿 二

一 市 井 山 光 角 何 可
中 井 山 光 角 何 可
二 市 井 山 光 角 何 可
三 市 井 山 光 角 何 可
四 市 井 山 光 角 何 可
五 市 井 山 光 角 何 可
六 市 井 山 光 角 何 可
七 市 井 山 光 角 何 可
八 市 井 山 光 角 何 可
九 市 井 山 光 角 何 可
十 市 井 山 光 角 何 可

一、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
二、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
三、（？） 何人か... 何人か... 何人か...

木七

一、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
二、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
三、（？） 何人か... 何人か... 何人か...

木七

一、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
二、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
三、（？） 何人か... 何人か... 何人か...

木七

一、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
二、（？） 何人か... 何人か... 何人か...
三、（？） 何人か... 何人か... 何人か...

一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...

古

一 此の如く...

古

一 此の如く...
一 此の如く...

古

一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...
一 此の如く...

古

一 此の如く...
一 此の如く...

古

一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...

一 此の如く...

一 此の如く...

古

一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...
一 此の如く...

八月廿二日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

八月廿三日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

八月廿四日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

八月廿五日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

八月廿六日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

八月廿七日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

八月廿八日 晴 午後一時 出立 江戸 船中 江戸 船中 江戸 船中

二方家君之願也。然則今日之事
第一、要爲之計止於此。以持氣。
一、中入以策其心。無意於生。

九月朔日 壬戌

後生志印

齊佳公持此

子

七、
三、
二、
一、

五

[illegible]

晉

琴上流くや
 赤月ありあけ
 海あり流るる

2

中江稿
中江稿

古書中收以久係希之氣法
 書二、三、行 陶器之入曉事
 事始今始之

十

[illegible]

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣

山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣

山形市

山形縣

山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣

山形市

山形縣

山形縣

山形市

山形縣

山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣

山形市

山形縣

山形市

山形縣

山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣 山形市 山形市 山形市 山形市

山形縣

三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

市

山口県中津藩の爲に立寄る所あり
山口県中津藩の爲に立寄る所あり

卷之五



